

2/16 木曜

株4種類別々流入か

感染研 国内のオミクロン分析

新型コロナウイルスとみられます。

の変異株「オミクロン株」が国内に少なくとも4種類存在し、それ

感染研は1月17日までに登録された国内2650例の全遺伝情報

(ゲノム)を解析しました。

一つは12月下旬から関西地方で広く検出さ

れたもので、欧州のものに近く、現在は拡大

最後の一つは関東や東北で感染が広がったも

ので、欧州やアジアで検出が多いものに近い

者集団)対策で収束していると看えられる」と指摘しました。

残る3種類のうち、一つは現在主流のもので、米国で多く検出さ

れるのと近いが同じでした。別の一つは九州で確認後、関東などに広がっており、米国や

英国で検出される系統に近いか同じでした。

最後の一つは関東や東北で感染が広がったもので、欧州やアジアで

ぞれ別の経路で流入した可能性のあることが、国立感染症研究所の分析で15日までに分かりました。うち5種類が全国に広がり、感染者急増につながったのが少なくとも4種類